

## 令和8年度信州 IT バレー構想広報発信事業委託業務仕様書（案）

この業務仕様書は、長野県（以下「委託者」という）が行う令和8年度信州 IT バレー構想広報発信事業の業務（以下「本業務」という）を委託するに当たり、その仕様等に関し必要な事項を定めるものである。

### 1 委託業務の名称

令和8年度信州 IT バレー構想広報発信事業委託業務

### 2 業務の目的

委託者は、長野県の快適な住環境と暮らしやすさ、首都圏・中京圏等の結節点に位置する地理的メリットを活かして、産学官が連携し IT 人材・IT 産業の集積を目指す「信州 IT バレー構想（以下、構想）」を令和元年より推進している。構想関連事業ごとに県内外の企業・団体による先端的な取組は進んでいる一方、発信や交流が各事業単位にとどまり、構想全体としての魅力や成果が伝わりにくい状況にある。また、協業先候補となる成長志向のある県内企業や場所・資金等の支援者、さらには構想の発展・持続に必要な AI 等先端テクノロジー利活用企業・人材や次世代（大学生・高専生・高校生）との接点が十分に形成できていないという課題がある。

本業務では、構想関連事業ごとに形成されてきたコミュニティを融合し、県内外企業、支援機関、自治体等の構想関係者が一同に会する交流の場を設けるイベントを開催する。AI 等先端テクノロジーおよび長野県各地域の魅力・連携可能性（信州リゾートテレワーク等構想関連事業）をテーマに取り上げることで、都市圏をはじめとした県外の先端テクノロジー利活用企業・人材や成長志向のある県内企業も広く呼び込む。加えて、構想の展望・実績を掲載する Web サイトを運営し、ブランディングを強化する。

本事業を、県内の多様な構想関係者には事業・主体の垣根を超え、共に未来を志向する「接点」として、全国の先端テクノロジー利活用企業・人材にとっては長野県につながるきっかけとなる「入口」として位置付け、イノベーション機運を醸成する。長期的には、東京・愛知等都市圏のイノベーションイベントとの連携により、先端テクノロジー利活用に向けた多様な企業・人材が国内を循環し、各地で共創する流れ（カルチャー）をつくることを目指す。

### 3 関係法令

本業務の実施に関しては本仕様書によるほか、下記の関係法令等を遵守して行うこと。

- (1) 長野県財務規則及び諸規則
- (2) 委託契約書
- (3) その他関連法令及び通達

### 4 委託期間

契約日から令和9年（2027年）3月31日まで

### 5 委託業務の内容

## (1) テクノロジー展示会（仮称）の開催

### ア 概要

- ・実施時期 令和8年9月18日（金）  
（より優れた提案をすることは構わない。委託者と協議の上決定する。）
- ・実施場所 長野市芸術館メインホール  
（委託者側で会場を押さえているため、事業者側からの確認は不要である。会場費については委託事業費に含めること。より優れた提案をすることは構わない。委託者と協議の上決定する。）
- ・形式 原則オフラインでの実施を想定すること。キーノートスピーチやセッションについては、オフラインに加えて、オンラインによる同時配信等の対応を行うことが望ましい。
- ・料金 今年度は設けない想定である。
- ・言語 日本語
- ・参加ターゲット 製造業、IT企業等の県内外企業、その他業種を問わず成長志向のある県内企業、県内外経営者協会や商工会議所等経済団体、県内市町村等行政機関、県内外コワーキング・インキュベーション施設運営者、学生（県内大学、工短大、高専、高校等）、全国のAI等先端テクノロジー利活用企業など。

### イ イベント全体の企画提案

業務の目的に資するイベント全体の企画を提案・登壇者との調整をすること。企画提案にあたっては、下記（ア）～（エ）を中心に想定しているが、より本業務の効果を高める内容を提案することは差し支えない。

（ア）全国的に活躍する先端テクノロジー有識者によるキーノートスピーチ

（イ）セッション（対談企画）

セッションのテーマとして以下を想定する。

- ・AI等最先端テクノロジーの利活用と県内産業への応用（例 フィジカルAI等）
- ・ビジネスをする視点での長野県の魅力  
（例 ローカル経済圏、教育等社会インフラの充実、生物多様性に富んだ自然）
- ・信州ITバレー構想関連事業の先進事例や官民連携プロジェクト  
（参考 令和7年度の発信例 クリエイティブコネクト powered by 信州リゾート  
テレワーク、チャレンジナガノ 2.0 成果報告会 その他構想関連事業は別紙一覽）

（ウ）出展・商談ブース

参加ターゲット層が出展・商談できるブースエリア

（エ）ハッカソン

県内外IT人材と学生の交流・コミュニティ形成に資する内容

### ウ サイドイベントの企画・実施支援

本イベントへの継続的な関わりが期待できる人物をサイドイベント主催者として誘致し、企画支援と当日の会場費補助を行う。5件程度を想定。

### エ イベント当日の運営

- ・イベント会場設営（備品手配、照明・音響・映像）

- ・ イベント運営・進行  
（マニュアル・台本作成、進行管理、照明・音響・映像操作、WEB 配信等）
  - ・ 看板製作、記録映像制作等
  - ・ 受付、誘導等の来場者・登壇者・出展者対応
  - ・ 会場付帯設備確保、会場装飾、展示・商談ブース設置
  - ・ アンケート作成、成果の把握
- 上記の他、イベントの開催・運営に必要な業務を実施すること。

#### オ イベントの広報・広報媒体の作成

下記の集客 KPI を達成するための広報戦略を策定し、実施すること。

集客 KPI：500 名以上（集客人数については、オンライン参加者、サブイベント参加者を含める。）

HP を作成・運用し、効果的な広報展開を行うこと。（（2）の構想 Web サイトと連動させてもよい。）また、イベント広報用のチラシ、ポスター、当日配布用のパンフレット、各種備品（ネックストラップ、T シャツ等）等の広報媒体の作成も実施すること。

#### カ スポンサー・共催・後援団体の募集

地域内外の企業や団体からのスポンサーや共催・後援獲得に向けて、積極的に連携活動を行うこと。スポンサー・共催・後援団体または構想関係者等からイベントのコンテンツにおける連携や、サイドイベント等の提案があった際は、委託者と協議の上、積極的に連携を検討すること。

#### キ イベント実績記録の制作

イベントの概要・当日のセッション等の内容に関する記録を作成し、（2）で開設する構想 Web サイトに掲載する。形式は記事・動画等提案すること。

#### （2）構想 Web サイトの開設・運用

現在の信州 IT バレー構想推進協議会公式サイト（<https://nagano-it.jp/>）に代わる構想の情報発信・ブランディングを目的とした Web サイトを年度内に開設・運用する。現在運用しているサイトから移行する内容は委託者と協議の上決定する。

#### （3）留意事項

本業務の実施に当たっては、企業誘致関係事業（産業労働部産業立地・IT 振興課立地振興係）やスタートアップ支援事業（産業労働部経営・創業支援課創業・承継支援係）との連携に努めること。

## 6 完了検査

- （1）受託者は、本業務の完了後に委託者の検査を受けるものとする。
- （2）受託者は、検査の結果、委託者から補正の指示があった場合は、速やかに補正を行い、再検査の合格をもって完了とする。

## 7 対象経費

(1) 本業務委託の対象となる経費は、以下のとおりとする。

ア 受託事業に従事する職員の人件費

イ 報償費（有識者等への謝金）

ウ 旅 費（有識者、職員等の旅費）

エ 需用費（資料等印刷費、事務用品費等）

オ 役務費（通信費（郵便代、電話代等）、事業周知の広告料、振込手数料等）

カ 使用料及び賃借料（会場費、機材の借り上げ費用等）

キ その他事業実施に必要な経費

(2) 一般管理費

各事業経費（人件費を除く直接経費）の合計額の10%以内であること

(3) 対象とならない経費

ア 機械・機器等の購入経費

イ 土地・建物を取得するための経費

ウ 施設や設備を設置または改修するための経費

エ 国や地方公共団体等の補助金、委託費等により既に支弁されている経費

オ 飲食に係る経費

カ その他、事業との関連が認められない経費

(4) この他、委託料に関する事項は、契約書において定める。

## 8 権利関係

(1) 制作物が他社の所有権や著作権を侵すものではないこと。

(2) 本事業に関する所有権や著作権は、原則としてすべて委託者に帰属し、委託者は事前の連絡なく加工及び二次利用できるものであること。ただし、受託者が従来から権利を有している受託者固有の知識、技術に関する権利等（以下「権利留保物」という。）については、受託者に留保するものとし、この場合、委託者は権利留保物について当該権利を非独占的に使用できることとする。

(3) 制作物の版下等の電子データについて、受託者は、本事業完了後、委託者が指定する日までに電子データ（マイクロソフトワードやパワーポイント等の編集可能な形式及びPDF形式）で委託者に提出すること。

(4) 使用する写真の被写体が人物の場合、肖像権の侵害が生じないようにすること。

## 9 個人情報取得・保護・管理等

(1) 受託者は本業務の実施上知り得た情報については、秘密を保持するとともに、契約目的以外に使用してはならない。また、契約期間終了後も同様とする。

(2) 受託者は個人情報の保護については十分に注意し、流出・損失を生じないこと。

(3) 受託者は成果品（業務の履行過程において得られた記録等を含む。）を第三者に閲覧させ、複写させ、又は譲渡してはならない。ただし、委託者の承諾を得た場合はこの限りではない。

## 10 その他

- (1) 本事業の実施に当たっては、実施内容の詳細について業務計画書及び実施スケジュール等を作成し、事前に委託者と協議すること。
- (2) 受託者は、やむをえない事情により、本仕様書の変更を必要とする場合は、予め委託者と協議のうえ、承認を得ること。本仕様書に定めのない事項及び本仕様書に疑義が生じた場合には、委託者と協議すること。
- (3) 受託者は本仕様書に記載されていない事項については、委託者の指示に従わなければならない。
- (4) 委託料又は履行期間を変更する必要があるときは、書面によりこれを定める。
- (5) 受託者は本仕様書に定めのない事項及び本仕様書に疑義が生じた場合には、委託者と協議すること。



# 信州 I T バレー構想の推進について

【目指す姿】Society 5.0時代を共創する I T 人材・I T 産業の集積地「信州」  
～ I T 技術で拓く長野県産業の新時代～

仕様書別紙

## ① I T 企業の開発力向上やビジネス創出の支援を強化

## ② 全ての産業の D X 推進により I T 企業活躍の場づくり

産業立地・I T 振興課

### ③ 県内でグローバルに活躍する I T 人材の育成・誘致・定着

により、エコシステム形成を促進

#### 1 I T ビジネス創出・誘発

《これまでの主な取組（～R7）》 ● 県事業 ○ 推進団体事業等

《R8 県の主要事業（予算額）》

（実績等は令和8年1月末時点）

創出

- **コンソーシアム活用型 I T ビジネス創出支援事業** <R3～7：56件 採択>
- **信州スタートアップステーション**  
@長野市（NICOLLAP）@松本市（サザンガク）<延べ相談 R2～6 計2,595件>
- **信州スタートアップ・承継支援ファンド** ● **信州スタートアップ・承継支援2号ファンド**  
<R4設立 19件投資実行> <R6設立 6件投資実行>

誘発

- **ソーシャルビジネス創業支援金** <A I 活用型農業機械開発、3 D スキャナー開発 等>
- **リゾートテレワークの推進**  
<モデル地域12地区での環境整備、100以上の受入施設、都市圏企業等に向けたプロモーション活動、R6実施者：5,973人>
- **I C T 産業立地助成金** <事業認定企業数計 35件(R8.1未現在) Hajimari、ハネフィットワン、アステリア 等>
- **地域密着型企業誘致事業（チャレンジナガノ2.0）** <R7:8市町村に対し71者から185提案>
- **中小企業融資制度資金（信州創生推進資金：I T 産業向け）**

#### I T ビジネスを創出するエコシステム形成・県内 I T 企業の開発力向上（開発型企業への転換）

- **信州型サンドボックス事業**（78,258千円 **NEW**）  
新たな産業・サービスの創出や地域や企業課題の解決に向け、県内企業等と先端技術活用企業による P o C（概念実証）を支援
- **専門家派遣事業**（24,902千円 **UP**）  
民間の専門家を派遣することにより生産性向上や経営革新等を促進

#### I T 企業の立地環境整備（県内へ I T ビジネスを呼び込む環境づくり）

- **リゾートテレワーク推進事業**（4,535千円）  
信州リゾートテレワークの提案により、新たな人の流れを作り出し、I T 人材・企業の誘致と地域の活性化を推進
- **I C T 産業立地助成金**（219,584千円）  
県内産業の D X 促進に資する情報サービス業等の立地を促進、全国トップレベルの助成制度
- **地域密着型企業誘致事業 ～チャレンジナガノ2.0～**（22,000千円）  
市町村等と県内外の I T 企業の共創による地域の魅力向上の取組を支援

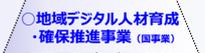
#### 2 産業 D X

実装

- **A I ・I o T 等先端技術利活用支援拠点（長野県 D X 推進ラボ）**  
<R1～3延べ相談 1,551件、A I ・I o T 等先端技術利活用に係る補助件数 計28件>
- **I o T 導入実践研修** <R1～5計 4会場 71名参加> ● **D X 実践セミナー2025** <R7 全 4 回 69名参加>
- **スマート農林業の普及促進** <R3.12ナガノイノベーションフィールド開設>

開発

- **地域 D X 促進環境整備事業（国事業）** <R4 補正（NICOLLAP、NICE）他>
- **D X ソリューション提案事業** <提案件数 R7：6件（共同研究4件、インストラクター派遣2件）>
- **5 G ラボ・D X ラボ・3 D ラボ（工技センター 岡谷、松本、長野）**  
<生産現場の D X 支援 R1～4計16件>



現場研修プログラム候補の案件組成<県内5企業での現場研修実施>（R4）

#### 全ての産業の D X 推進と高度化の加速（実装支援と開発支援）

- **デジタル化一貫支援事業**（47,698千円 **UP**）  
県内事業者のデジタル化を支援するため、専門人材による伴走支援、各種業界団体と連携した一貫した支援体制を整備
- **スマートファクトリー・A I ・ロボット基盤技術高度化推進事業**（5,300千円 **UP**）  
工業技術総合センターで企業におけるスマートファクトリーの実現に寄与する技術開発を実施、既設の研究会等と連携し成果を普及
- **宿泊事業者の D X 支援事業**（325,443千円(R8.1補))  
宿泊事業者の生産性を向上するため、D X 投資に係る経費を支援(R7から継続)
- **信州農業の未来を創るスマート農業導入支援事業**（500,620千円 **UP**）  
地域計画の実現に向け、スマート農業技術の導入と人材の育成を通じて、持続可能な地域農業の構築を図る

#### 3 多様な I T 人材の育成・誘致・定着

育成

- **企業 D X 推進人材育成講座事業** <R6講座受講者・講座動画視聴者 延べ410名>
- **D X 人材育成プログラム（NTT東日本・信州大学・県立大学・県（工短））**  
<R3 延べ572人が参加>
- **生産性向上推進リーダー育成講座事業** <R7～、R7生産性向上講座・D X 関係講座受講者 延べ79名>

誘致・定着

- **女性デジタル人材育成事業（通称：デジチャレ信州事業）** <R7 参加者72名>
- **信州未来アプリコンテスト（R6：信州ゲームクリエイターズチャレンジ）**  
<参加者H27：15件→R4：94件 H30～R2参加者が未踏Jr.採択（中学1年生）等 R6 応募者数30組、ヒッチ大会参加者数7組>
- **おためしナガノ** <H27～R7 参加数 166組262名 R6までの県内に拠点を維持・活動するとした者 約7割>
- **プロフェッショナル人材戦略拠点** <I T 人材マッチング H28～R7：延べ84名>

#### I T 人材の育成

- **生産性向上推進リーダー育成講座事業**（9,000千円）  
県内企業の在職者を対象とした生産性向上を推進するための人材育成講座を実施
- **女性デジタル人材育成事業（デジチャレ信州事業）**（15,948千円）  
求職中の女性を対象にデジタルスキル習得とキャリア形成を支援、柔軟で多様な働き方が期待されるデジタル分野での就職・起業を促進

#### 県内企業への I T 人材の誘致・定着

- **D X ハイスクール支援事業**（4,263千円 **NEW**）  
地元企業への人材定着を図るため、県内 I T 事業者と連携して D X ハイスクール採択校の実践的な探究活動の取組を支援
- **海外 I T 人材獲得支援事業**（8,327千円）  
県内事業者による海外 I T 人材の活用を促進するため、課題解決をテーマとするインターンシップ等を通じた人材受入のきっかけを提供

#### 情報発信 他

- **ナガノフレッジ** <R2 参加者：1,600人超 長野市、軽井沢町 他>
- **シシコツコツ**（関連の個別イベント含む）<R4～R6 イベント開催回数 計9回>
- **ブラウンホーファー研究機構との交流（信州大学）** <日独連携シンポジウム・企業相談会の開催、工技センターにサテライトオフィス設置>

#### I T ビジネス環境の魅力発信、施策が最大の効果をもたらすようプロモーションを展開

- **信州 I T バレー構想広報発信事業**（25,000千円 **NEW**）  
情報交換の場や H P 等を運営し、「信州 I T バレー構想」の進捗や成果、展望を効果的に発信・ブランディング
- **リゾートテレワーク推進事業**（再掲）